



2026年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年5月11日

上場会社名 コーア商事ホールディングス株式会社 上場取引所 東
コード番号 9273 URL <https://www.koashoji-hd.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 首藤 利幸
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 小松 美代子 TEL 045 (560) 6607
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年6月期第3四半期の連結業績（2025年7月1日～2026年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年6月期第3四半期	18,334	4.0	4,580	4.5	4,551	3.0	3,052	3.1
2025年6月期第3四半期	17,620	5.1	4,381	22.8	4,419	23.7	2,959	30.8

(注) 包括利益 2026年6月期第3四半期 3,047百万円 (3.5%) 2025年6月期第3四半期 2,944百万円 (29.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年6月期第3四半期	72.47	—
2025年6月期第3四半期	70.27	—

(注) 「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年6月期第3四半期	38,039	30,494	80.2
2025年6月期	36,114	28,120	77.9

(参考) 自己資本 2026年6月期第3四半期 30,494百万円 2025年6月期 28,120百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年6月期	—	0.00	—	16.00	16.00
2026年6月期	—	0.00	—	—	—
2026年6月期（予想）	—	—	—	18.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年6月期の連結業績予想（2025年7月1日～2026年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,700	10.4	5,430	1.4	5,430	1.0	3,640	0.1	86.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 一社 (社名) 一、除外 一社 (社名) 一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2026年6月期3Q	42,119,980株	2025年6月期	42,119,980株
2026年6月期3Q	1,476株	2025年6月期	1,476株
2026年6月期3Q	42,118,504株	2025年6月期3Q	42,118,614株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料は、TDnetで同日開示するとともに、当社ホームページに掲載することとしています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(四半期連結貸借対照表に関する注記)	9
(四半期連結損益計算書に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(セグメント情報等の注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、堅調な企業収益の改善や継続的な賃金上昇を背景とした所得環境の持ち直しにより、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、米国の通商政策の動向やイラン情勢をはじめとする中東地域の緊迫化に伴う資源価格や物流費高騰への懸念などにより、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような環境の中、輸入販売を行う原薬販売事業では国際情勢の緊迫化による物流面での遅延等のリスクに備えて、医薬品製造業者やサプライヤーとの連絡を密に行い、早期に在庫や物流手段を確保すること等により原薬に必要な時期に納入できるように努めております。為替変動は原薬等の仕入価格に影響し、円高が進んだ場合には仕入価格が下落し、円安が進んだ場合には高騰するリスクがあります。対策として、必要に応じ為替予約等を行うことや海外サプライヤーへの価格交渉、為替連動型の価格設定への切替に加えて、外貨建て分割償還債券の導入等によりリスク回避に努めております。

医薬品業界におきまして、ジェネリック医薬品使用促進策が引き続き進められております。長期収載品の選定療養は、2026年6月1日から負担額が長期収載品と後発医薬品の価格差の2分の1に引き上げられることとなりました。

一方で、今年度も薬価改定が行われ2026年3月5日に厚生労働省より公表された「令和8年度薬価制度改革について」の中で薬価と市場実勢価格との平均乖離率は約4.8%、乖離率を投与形態別にみると、内用薬5.8%、注射薬3.2%、外用薬6.8%、歯科用薬剤△9.5%と報告がなされました。不採算品目再算定には、232成分、704品目が対象となりました。当社グループでは薬価引き下げとなった製品がある中、重要供給確保医薬品(カテゴリーA)や一部製品で改定されないものがあつたことや、最低薬価で引き上げられたものがあり、グループ全体への影響は比較的抑えられました。今後も当社グループの医薬品製造販売事業の特徴である注射剤において、ジェネリック医薬品への置換えが比較的進んでいない高薬理活性注射剤製造に注力するとともに、品質確保と安定供給に努めてまいります。また今改定では、長期収載品の薬価を段階的に後発医薬品と同程度まで引き下げるG1ルール適用が原則10年から5年へと短縮されたことや、組成、剤型及び製法が先発品と同一とされるオーソライズド・ジェネリック(AG)について、2026年10月以降に新規収載される品目の薬価を先発品と同額とすること等の改定が行われております。

このような事業環境の中で当社グループでは、2030年をターゲットとした長期事業計画を策定し2030年のなりたい姿として、原薬販売事業は「原薬輸入商社から、医薬品専門商社へ」、医薬品製造販売事業は「注射剤を主としたジェネリック医薬品メーカーから、特長のある注射剤国内トップメーカーへ」を掲げ、取り組んでまいりました。この2つのテーマに向けた戦略を推進していくために2028年6月期までの中期経営計画を作成し、長期事業計画で掲げた財務目標の実現を目指しております。当連結会計年度においては事業基盤を強化するために、原薬販売事業では取引量の増加や老朽化に対応するために横浜医薬分析センターの更新の検討を進めております。医薬品製造販売事業では蔵王第二工場の建設が予定通り進んでおり2026年6月に竣工、2027年7月の稼働を目指しております。また、同じく山形にあるコーアイセイ本社工場において、2026年12月に予定している医薬品製造業許可更新に向けて医薬品の品質及び安全性の確保と安定供給体制の強化への対応を進めております。

このような状況の下、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高18,334百万円(前年同期比4.0%増)、営業利益4,580百万円(前年同期比4.5%増)、経常利益4,551百万円(前年同期比3.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益3,052百万円(前年同期比3.1%増)となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

原薬販売事業

原薬販売事業におきましては、「腫瘍用薬」及び「その他の代謝性医薬品」用原薬が顧客の購入タイミングの影響等により減少した一方で、「アレルギー用薬」、「中枢神経系用薬」及び「感覚器官用薬」等の原薬販売が堅調に推移いたしました。これは、近年上市した品目の市場浸透が進んだことに加え、ジェネリック医薬品の数量シェア拡大に伴い取引量が増加したこと等によるものです。この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は12,248百万円(前年同期比4.4%増)、セグメント利益は2,588百万円(前年同期比8.3%増)となりました。なお、売上高には、セグメント間の内部売上高939百万円を含んでおります。

医薬品製造販売事業

医薬品製造販売事業におきましては、主力製品の錠剤が競合の参入等により減少した一方で、プレフィルドシリンジ製剤や抗がん剤のバイアル製剤の販売が堅調に推移したこと等により、当第3四半期連結累計期間の売上高は7,024百万円(前年同期比2.1%増)、セグメント利益は1,931百万円(前年同期比0.1%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産、負債及び純資産の状況は次のとおりであります。

総資産は38,039百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,924百万円増加いたしました。これは主に、投資有価証券の増加1,574百万円、建設仮勘定の増加1,476百万円、商品及び製品の増加649百万円、有価証券の増加281百万円、受取手形及び売掛金の増加234百万円があった一方で、現金及び預金の減少1,652百万円、電子記録債権の減少428百万円、仕掛品の減少60百万円等があったことによるものであります。

負債は7,545百万円となり、前連結会計年度末に比べ448百万円減少いたしました。これは主に、短期借入金の増加1,220百万円、未払金の増加423百万円があった一方で、設備関係未払金の減少1,072百万円、未払法人税等の減少432百万円、電子記録債務の減少245百万円、長期借入金の減少196百万円等があったことによるものであります。

純資産は30,494百万円となり、前連結会計年度末と比べ2,373百万円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益3,052百万円の計上による増加があった一方、配当金支払による減少673百万円等によるものであります。

これらの結果、自己資本比率は前連結会計年度末より2.3ポイント増加し、80.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年6月期の連結業績予想につきましては、2025年8月8日に公表いたしました予想数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,919,028	13,266,713
受取手形及び売掛金	3,575,127	3,810,083
電子記録債権	4,546,823	4,117,855
有価証券	—	281,281
商品及び製品	2,124,094	2,773,864
仕掛品	540,924	480,708
原材料及び貯蔵品	599,763	651,282
その他	221,905	270,864
流動資産合計	26,527,666	25,652,652
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,654,060	5,749,649
減価償却累計額	△2,748,896	△2,908,204
建物及び構築物 (純額)	2,905,164	2,841,445
機械装置及び運搬具	3,870,459	3,968,283
減価償却累計額	△2,958,177	△3,154,854
機械装置及び運搬具 (純額)	912,281	813,428
工具、器具及び備品	1,530,744	1,573,496
減価償却累計額	△1,200,143	△1,279,802
工具、器具及び備品 (純額)	330,600	293,694
土地	1,807,189	1,806,426
建設仮勘定	3,240,308	4,716,379
有形固定資産合計	9,195,544	10,471,373
無形固定資産		
その他	8,661	7,586
無形固定資産合計	8,661	7,586
投資その他の資産		
投資有価証券	89,928	1,664,133
繰延税金資産	263,690	220,361
退職給付に係る資産	17,490	8,724
その他	11,776	14,757
投資その他の資産合計	382,886	1,907,977
固定資産合計	9,587,091	12,386,936
資産合計	36,114,758	38,039,589

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,567,463	1,485,146
電子記録債務	448,935	203,148
短期借入金	※ 860,000	※ 2,080,280
未払金	361,305	784,811
設備関係未払金	1,277,390	204,798
1年内返済予定の長期借入金	349,904	299,804
未払法人税等	1,039,296	606,948
賞与引当金	47,964	95,140
その他	411,420	324,373
流動負債合計	6,363,679	6,084,450
固定負債		
長期借入金	1,241,480	1,044,628
繰延税金負債	7,192	5,973
役員退職慰労引当金	162,767	165,923
退職給付に係る負債	146,049	162,630
その他	72,925	81,897
固定負債合計	1,630,414	1,461,053
負債合計	7,994,094	7,545,503
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,338,752	1,338,752
資本剰余金	1,022,303	1,022,303
利益剰余金	25,733,458	28,111,965
自己株式	△484	△484
株主資本合計	28,094,029	30,472,536
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	30,798	19,139
繰延ヘッジ損益	△4,163	2,409
その他の包括利益累計額合計	26,634	21,549
純資産合計	28,120,664	30,494,085
負債純資産合計	36,114,758	38,039,589

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2026年3月31日)
売上高	17,620,607	18,334,054
売上原価	11,617,913	11,989,645
売上総利益	6,002,693	6,344,409
販売費及び一般管理費	※ 1,620,827	※ 1,763,885
営業利益	4,381,866	4,580,523
営業外収益		
受取利息及び配当金	2,228	7,598
有価証券利息	—	16,730
為替差益	17,098	—
受取手数料	150	2,469
受取補償金	34,013	923
補助金収入	—	5,000
その他	5,010	9,741
営業外収益合計	58,500	42,464
営業外費用		
支払利息	10,651	13,930
為替差損	—	55,007
その他	10,154	2,402
営業外費用合計	20,805	71,340
経常利益	4,419,561	4,551,646
特別利益		
固定資産売却益	—	3,552
特別利益合計	—	3,552
税金等調整前四半期純利益	4,419,561	4,555,199
法人税、住民税及び事業税	1,425,988	1,458,856
法人税等調整額	33,841	43,940
法人税等合計	1,459,829	1,502,797
四半期純利益	2,959,731	3,052,402
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,959,731	3,052,402

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2026年3月31日)
四半期純利益	2,959,731	3,052,402
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,604	△11,658
繰延ヘッジ損益	△9,129	6,573
その他の包括利益合計	△14,733	△5,085
四半期包括利益	2,944,998	3,047,317
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,944,998	3,047,317

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表に関する注記)

※ 当社及び連結子会社は、運転資金及び設備資金の効率的な調達を行うために取引銀行4行と当座貸越契約を締結しております。これらの契約に基づく当座貸越契約に係る借入未実行残高は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2025年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
当座貸越極度額	5,000,000千円	5,000,000千円
借入実行残高	860,000	2,080,280
差引額	4,140,000	2,919,720

(四半期連結損益計算書に関する注記)

※ 一般管理費に含まれる研究開発費の総額

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2026年3月31日)
研究開発費	98,305千円	108,895千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2026年3月31日)
減価償却費	512,168千円	452,030千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	原薬販売事業	医薬品製造販売 事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	10,740,119	6,880,487	17,620,607	—	17,620,607
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	10,740,119	6,880,487	17,620,607	—	17,620,607
セグメント間の内部売上高 又は振替高	994,011	—	994,011	△994,011	—
計	11,734,131	6,880,487	18,614,619	△994,011	17,620,607
セグメント利益	2,389,062	1,932,469	4,321,531	60,335	4,381,866

(注) 1. セグメント利益の調整額60,335千円は、セグメント間取引の消去及び全社費用であります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年7月1日 至 2026年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	原薬販売事業	医薬品製造販売 事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	11,309,549	7,024,505	18,334,054	—	18,334,054
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	11,309,549	7,024,505	18,334,054	—	18,334,054
セグメント間の内部売上高 又は振替高	939,170	—	939,170	△939,170	—
計	12,248,720	7,024,505	19,273,225	△939,170	18,334,054
セグメント利益	2,588,201	1,931,248	4,519,449	61,073	4,580,523

(注) 1. セグメント利益の調整額61,073千円は、セグメント間取引の消去及び全社費用であります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。